

人文学・社会科学におけるデータ共有・利活用に関するアンケート(2024 年度)

結果概要

2025 年 4 月

人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業
中核機関（東京大学史料編纂所・社会科学研究所）

はじめに

この度、人文学・社会科学におけるデータ共有・利活用の状況を把握することを目的として、「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業」の中核機関である東京大学史料編纂所・東京大学社会科学研究所がアンケートを実施いたしました。アンケートにご協力いただきました皆様には心からの感謝を申し上げます。

皆様からいただいたご回答は、人文学・社会科学におけるデータインフラを一層強化するべく活用させていただくとともに、本レポートにて結果概要をお知らせいたします。今後とも、本事業をよろしく願います。

1. 調査方法

調査は 2024 年 12 月 12 日から 12 月 25 日にかけて、回答用 Google Forms を公開・配信することにより実施しました。具体的には、Google Forms を関連する諸機関のウェブページで公開し、また関連するリポジトリの利用者や関連する学会の会員に向けて配信しました。その結果、調査期間を通して、508 名からの有効回答を得ました。

2. 回答者の個人属性

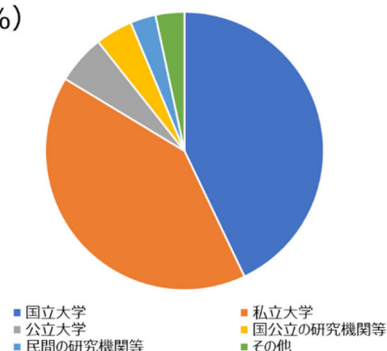
1) 所属先

- 国立大学 : n=218 (42.9%)
- 私立大学 : n=207 (40.7%)
- 公立大学 : n=29 (5.7%)
- 国公立の研究機関等¹⁾ : n=22 (4.3%)
- 民間の研究機関等²⁾ : n=15 (3.0%)
- その他³⁾ : n=17 (3.3%)

¹⁾ 国公立の研究機関またはそれに準ずる機関

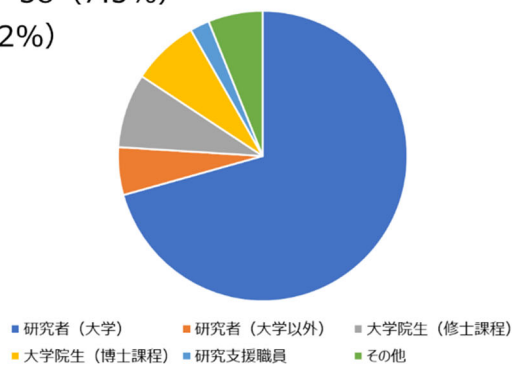
²⁾ 民間の研究機関・企業等

³⁾ 官公庁、自治体、財団法人（一般、公益）の研究機関、その他を含む



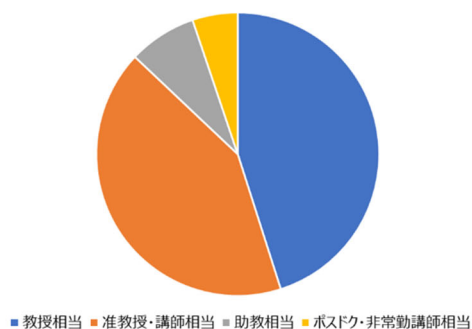
2) 職種

- 研究者（大学）：n=359（70.7%）
- 研究者（大学以外）：n=27（5.3%）
- 大学院生（修士課程）：n=42（8.3%）
- 大学院生（博士課程）：n=38（7.5%）
- 研究支援職員：n=11（2.2%）
- その他：n=31（6.1%）



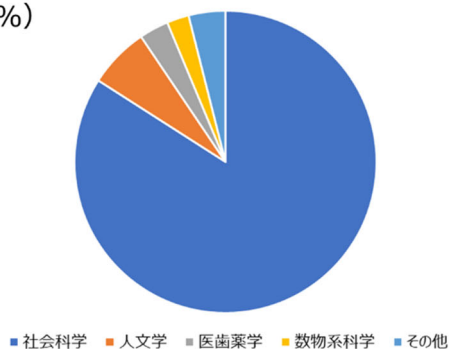
3) 職位（研究者のみ）

- 教授相当：n=174（45.1%）
- 准教授・講師相当：n=162（42.0%）
- 助教相当：n=30（7.8%）
- ポスドク・非常勤講師相当：n=20（5.2%）

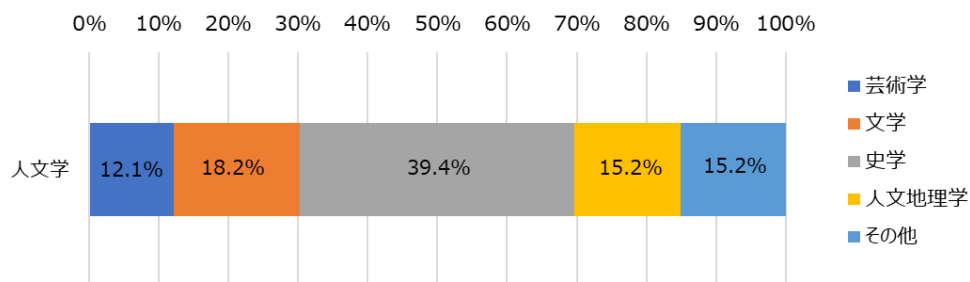


4) 専門分野

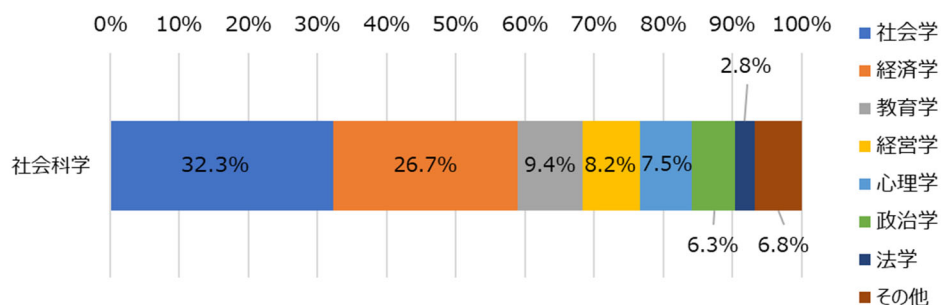
- 社会科学：n=427（84.1%）
- 人文学：n=33（6.5%）
- 医歯薬学：n=16（3.1%）
- 数物系科学：n=12（2.4%）
- その他：n=20（3.9%）



4-1) 人文学と回答した 33 名（全回答者の 6.5%）の内訳：詳細な専門分野

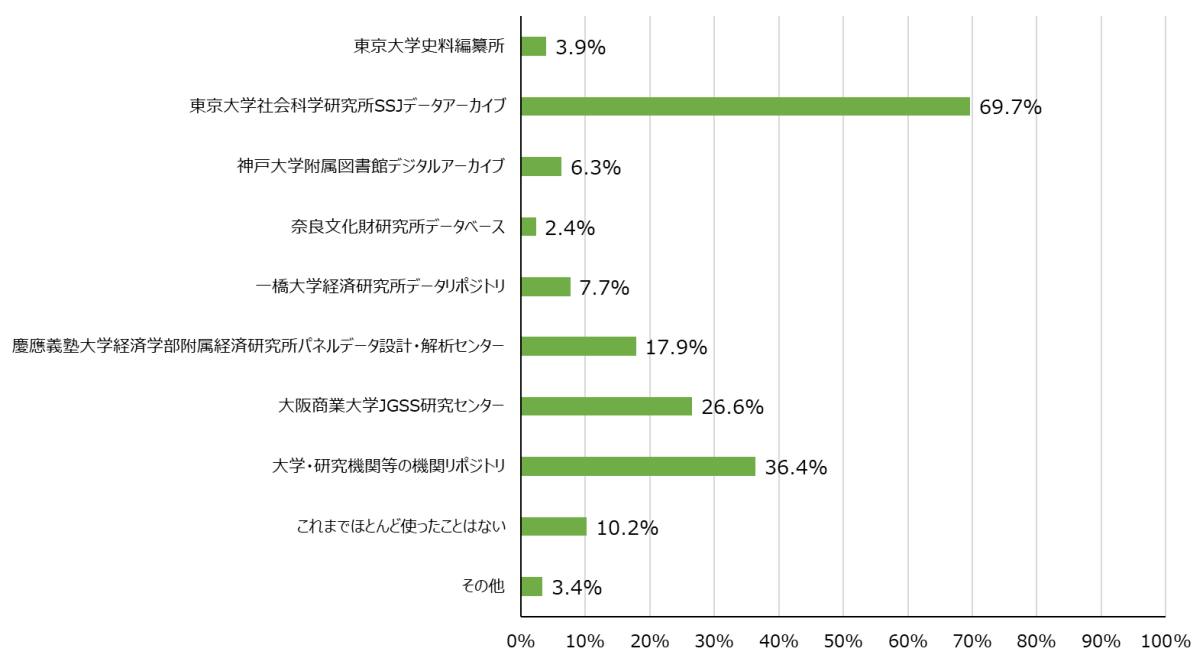


4-2) 社会科学と回答した 427 名（全回答者の 84.1%）の内訳：詳細な専門分野



3. アーカイブ／リポジトリの利用状況

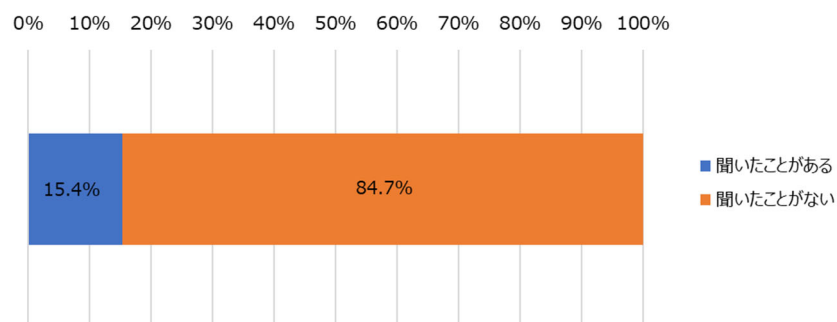
設問：普段の研究・教育および業務のなかで、どのアーカイブやリポジトリを使っていますか？
（複数選択）



4. 「人文学・社会科学総合データカタログ」(JDCat)の認知度と利用状況

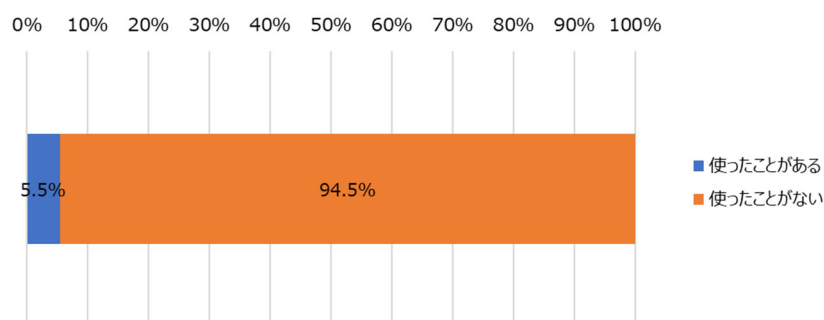
1) JDCat の認知度

設問：本アンケート以前に、「人文学・社会科学総合データカタログ」、もしくはその略称である「JDCat」という言葉を聞いたことはありましたか？

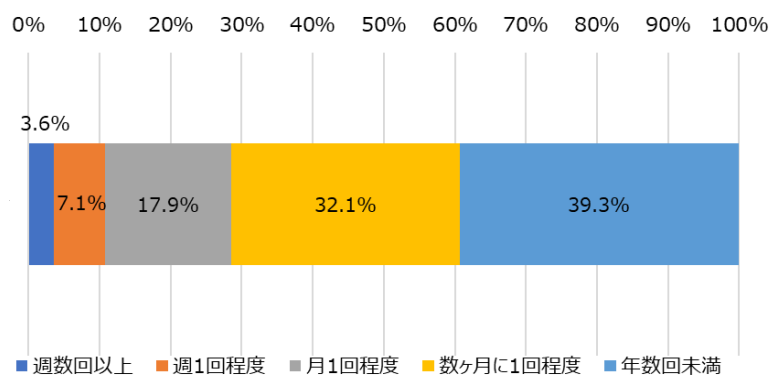


2) JDCat の利用状況

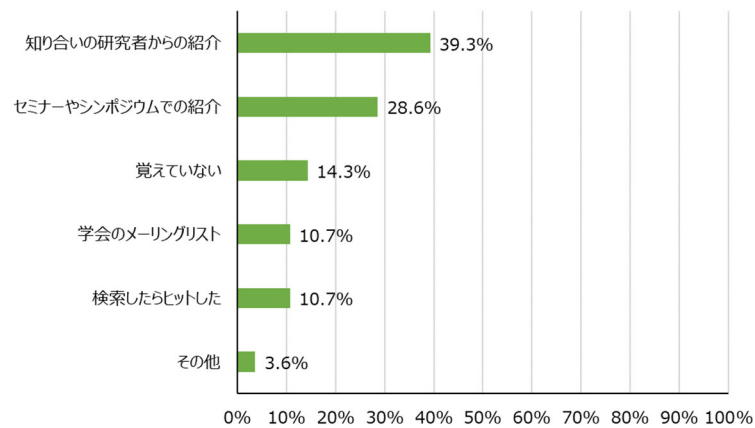
設問：これまでに JDCat を使ったことはありますか？



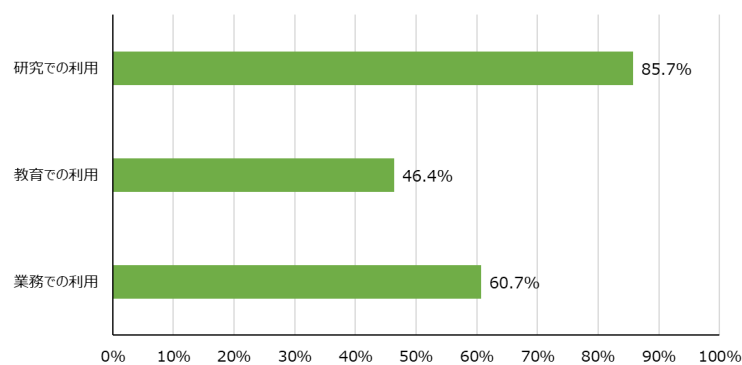
2-1) JDCat を使ったことがある 28 名（全回答者の 5.5%）の内訳：利用頻度



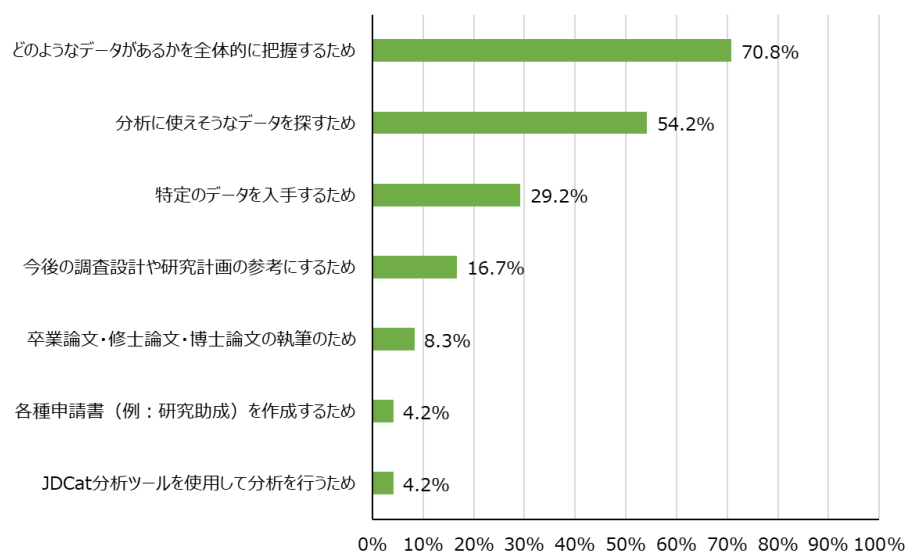
2-2) JDCat を使ったことがある 28 名（全回答者の 5.5%）の内訳：JDCat を使い始めたきっかけ（複数選択）



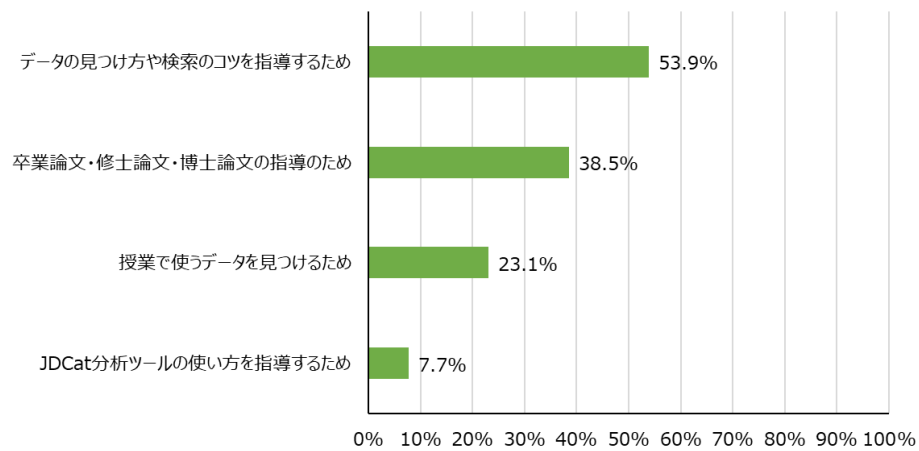
2-3) JDCat を使ったことがある 28 名（全回答者の 5.5%）の内訳：利用目的（複数選択）



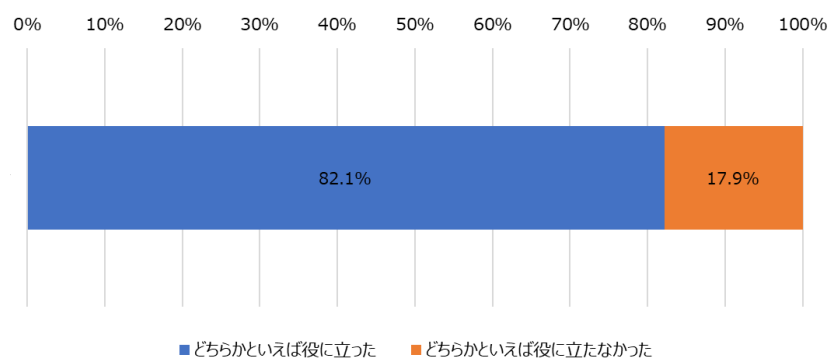
2-3-a) JDCat を研究に使ったことがある 24 名（JDCat 利用者の 85.7%）の内訳：具体的な利用目的（複数選択）



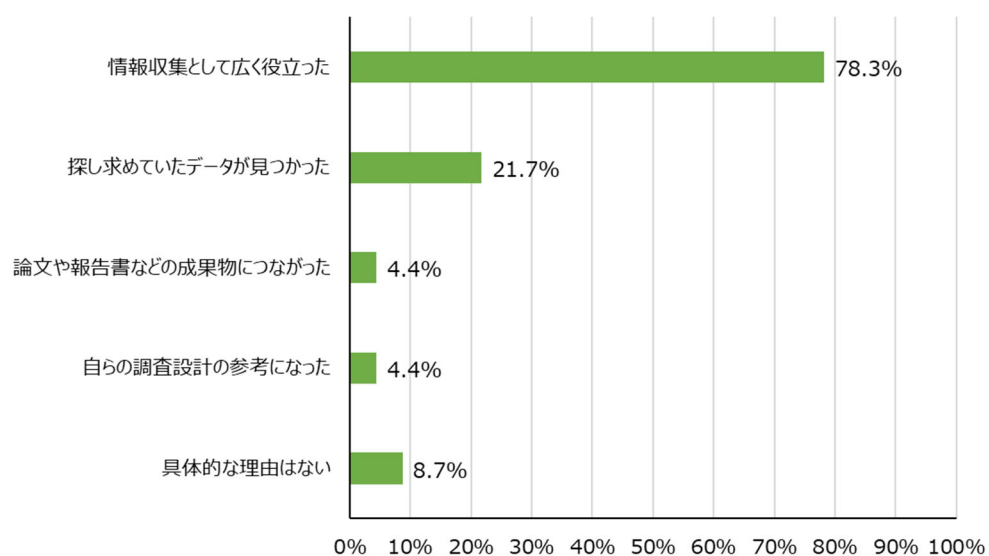
2-3-b) JDCat を教育に使ったことがある 13 名（JDCat 利用者の 46.4%）の内訳：具体的な利用目的（複数選択）



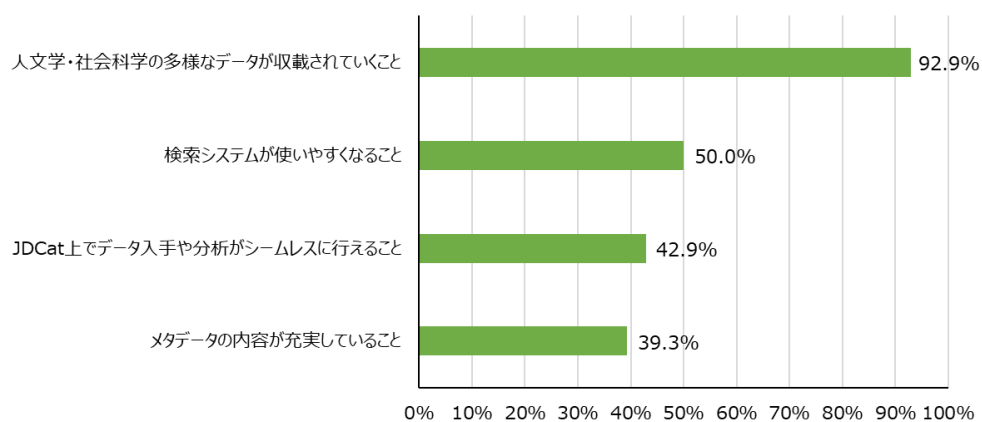
2-4) JDCat を使ったことがある 28 名（全回答者の 5.5%）の内訳：JDCat が役に立ったか



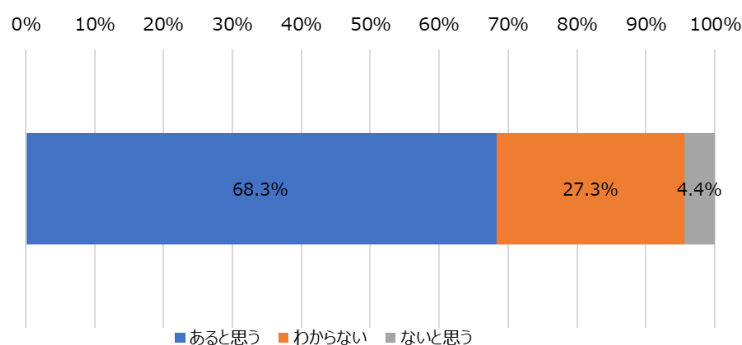
2-4-a) JDCat が役に立ったと感じた 23 名（JDCat 利用者の 82.1%）の内訳：JDCat がどのように役に立ったか（複数選択）



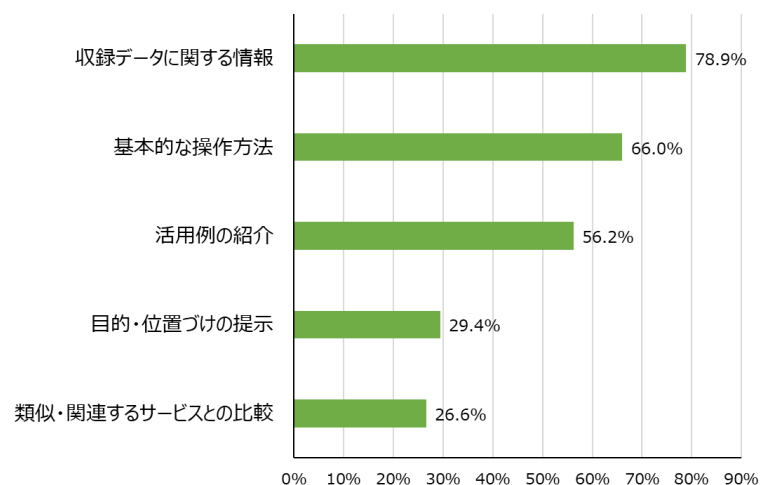
2-4-b) JDCat を使ったことがある 28 名（全回答者の 5.5%）の内訳：JDCat がさらに役立つために必要な機能強化（複数選択）



2-5) JDCat を知らない／使ったことがない 480 名（全回答者の 94.5%）の内訳：利用する可能性はあるか



2-6) JDCat を使う可能性がある／わからない 459 名（JDCat を知らない／使ったことがない回答者の 95.6%）の内訳：どのような情報があれば JDCat の利用に向けて検討しやすくなるか（複数選択）



おわりに

本レポートの作成に用いた個票データにつきましては、SSJ データアーカイブへの寄託を予定しております。